

HIJI SO GOOD! Teaching!!

No.7

令和2年9月29日発行
大分県立日出総合高等学校



観点別学習状況の評価

～試行シート担当者～



～各教科代表～

先日の研修時にお願いしました観点別学習状況の評価シートの2学期からの試行の先生が決定しましたので、お知らせします。

早速、シートへの記入をスタートさせてください。

来年度は全職員が活用します。問題点等をあげてもらい令和4年度本格実施に向けて、研究していきましょう。

(敬称略)

教科	担当者
国語	首 藤 陽 子
地歴公民	河 野 洋 介
数学	平 野 道 弘
理科	椎 葉 麻 衣
外国語	伊 藤 典 子
保健体育	有 村 徳 文
家庭	寺 尾 友 美
農業	阿 部 誠 治
工業	佐 藤 立 也
商業	後 藤 真希子

～学習評価の改善の主な改善点～

学習状況を分析的に捉える観点別学習状況の評価と、これらを統括的に捉える評価の両方について、新学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や生徒の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に準拠した評価として実施することになる。

こうした改善点のうち、重要課題となると思われるのが「主体的に学習に取り組む態度」の適正な評価の実施です。

学習指導と学習評価を通じて「学習に向かう力、人間性等」の育成を図ることは、生涯にわたり学習する基盤を形成するうえできわめて重要です。したがって、「主体的

に学習に取り組む態度」の評価とそれに基づく学習や指導の改善を考える際には、生涯にわたり学習する基盤を培う視点をもつことが必要です。そのためには、自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考の過程等を客観的に捉える力(いわゆるメタ認知)など学習に関するスキルを重視することが求められます。

生徒が自らの学習を客観的に捉え、学習の質を高めるためには、①多面的・多角的な視点、②論理的思考、③メタ認知の3つの要素が必要です。各教科等の授業において、「他に考え方はないか(多面的・多角的な視点)」「筋が通って、わかりやすいか(論理的思考)」「本当にこれでよいか(メタ認知)」という3つの問いかけを自ら発する生徒を育成することは、生徒に生涯にわたり学習する基盤を形成することにつながります。

メタ認知:

メタには「高次」という意味がある。一度認識したことを、より高い視点から再度認知します。生徒が自らの思考や行動を「本当にこれでよいのか」と捉え直すこと。

☆裏面は、先日の研修のアンケートの集約です。ご多用の中回答ありがとうございました。

